

## 【まちづくりループ】

豊科北中 三原 大知

私は、豊科北中学校2年、木村珠星です。三原大知さんが欠席のため、代理で質問を読ませて頂きます。

まちづくりグループでは、協働のまちづくり、男女共同参画などについて学習しました。そこで、各議員から質問させて頂きます。

私は高齢者の生きがいや生活についてお尋ねします。

2回行われた学習会の中で、安曇野市は若い世代が協働をして高齢者の方の世代を支えているのだということを知りました。一方で、高齢者の方々が主体で行う活動や人との交流が少なくなっているという現状は何とかなければいけないと思います。内閣府のデータによると高齢者の方が「生きがい」と感じるときは約半数が人と触れ合ったり、主体的に活動をしたりしているときだといいます。高齢者の方が「生きがい」を感じて生活していけるのかを考えることが、安曇野市の課題だと思います。

これは高齢者の方々主体となって活動したり交流したりする環境が整っていないためだと考えます。

そこで、私は若者と高齢者、双方でお互いを支え合うことができる環境づくりを提案します。例えば、私たちは現在学校での学習として、年に一、二度施設訪問など交流やボランティアを行っています。それを個人レベルで都合のよいときにもっと多くボランティア活動をできるようにします。さらに、高齢者の方に学校などへ来ていただき、コミュニティースクールなどの形で学校内でもかかわり合う活動をできるようにしていただきたいです。

こうすれば、若い人も高齢者の方を助けることができ、高齢者の方も若い人を助けることができるので、高齢者の方が生きがいをもって生活できると思います。

私はこの実現に向けて、高齢者の方の家でボランティアや交流をさせていただく方法を仲間と共に考えていきます。

市としては、高齢者の方と私たちをつなぐパイプ役となって双方のボランティア活動や交流をコーディネートしていただければと思っています。

こうすることで、高齢者と若い人が双方に支え合えるようになり、若い人も高齢者の方も市民一人一人が目標をもって生き生きと過ごせる安曇野市になっていくと思います。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 市民生活部・福祉部

【まちづくりグループ】

穂高西中 茂原和奏

私は、穂高西中学校二年、茂原和奏です。

私は、男女共同についてお尋ねします。男女共同をもっと多くの人に知ってもらう方法はないでしょうか。

私はこの議会に参加して、「男女共同」という言葉を初めて聞きました。私が思う課題は、まだ男女共同について多くの人に知ってもらうことができないことだと思います。

その課題の原因はどこになるのでしょうか。講座を開いても高齢者の方々がとても多いと聞きます。つまり、若い世代の人がなかなか参加できていません。そして、私のような中学生などが男女共同について話を聞くような機会もありません。中学生や高校生など若い世代がもっとこの問題を知り、関心をもつことが大切だと思います。

そこで、私は中学生や若者にも男女共同について考える機会があれば良いと思います。そのため、市にお願いしたいことは、男女共同についての説明を聞き、意見を交わせる機会をつくることです。そうすれば、高齢者の方々との話し合いがあればこの問題について経験を聞くこともできます。また、中学校へ夏休み前に男女共同についての作文コンクールの募集依頼をしてみてもはどうでしょうか。

その実現のため、私は作文コンクールや説明会への参加を呼びかけたり、自分も積極的に参加したりすることができます。

以上のような取り組みにより、若いうちから男女共同について関心をもつことができます。そして、これからを支えていく若い人が高齢者の方と意見を交わし合っていくこともできると思います。

私も短い時間でしたが、男女共同についての説明に興味をもつことができました。そんな若者を増やしていき、高齢者とも意見を交わされるようにできたら住みやすい安曇野市に近付くと思います。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 総務部

【まちづくりグループ】

明科中 矢島萌唯奈

私は、明科中学校2年、矢島萌唯奈です。

私は、男女共同参画の趣旨や内容を学んでもらうために行う、講座やイベントの回数についてお尋ねいたします。

私が思う今の課題は、現在、「男女共同参画」の趣旨や内容を知らない人がたくさんいることだと思います。

その課題がなぜ起きているのかというと、男女共同参画を、地域の方々に知ってもらうために行う講座やイベントの回数が、年にそれぞれ1回ずつ、合計2回と、少ないのではと考えるからです。

そこで、私は、地域の方々に学んでもらうために行う講座やイベントの回数を、もう少し増やすという方法を考えました。

その実現のため、私ができることは、男女共同参画に関係したポスターを書いて、人がよく通る場所や、よく目につくところに貼ることだと考えます。

その実現のため、市がすべき方法は、ひと目で男女共同参画を知ることができる趣旨や内容、講座やイベントのお誘いなどを書いたチラシを作成し、回覧板と一緒にして配る回数を年に3、4回に増やすことだと考えます。

そうすることで、将来の安曇野は、多くの人が「男女共同参画」のことを深く知り、男女平等の意識も強まり、お互いを思いやれるおだやかな安曇野になると思います。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 総務部